
夢想表示

フレジェ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢想表示

【Nコード】

N6392R

【作者名】

フレジェ

【あらすじ】

夢の中で動く。解放を夢見て。……でもこんなことしたら面白そうだ。／無言ダンテ様主催「Smile Japan」投稿作品

（前書き）

想像してみてもらえたら幸いです。

夢の中で、宙を舞う。

くるりと体を捻り、くるりと頭から一回転。

不思議な色の雲、不思議な色の空、不思議な色の星、不思議な色の……。

ともかく不思議なもので埋め尽くされた場所に浮かぶ、自分。

ふと、気分がよくなって

っ、ちょぉああぁジャンプッ!!

思いつきり上に跳ねる。足場がない？ ふっ、夢だからオールオッケー！

空中でぎゅるんぎゅるん回転する。世界がメリーゴーランドう!!
いつの間にか現れた鉄棒につかまってひたすら回転！ ここまで
回るのはじめてさ！

鉄棒から手を離して、思いつきり空の上を走る。全く疲れない！
わんだほー！

とフイーバーしていたら、目の前に母親が現れた。突然すぎる。

「起きなさい！」

頭をがしつと掴まれた。ああ母さん、ツボはそこじゃないよ

「はっ」

目が覚める。寝起きの体は倦怠感とむっとした暑苦しさ、同時に肌寒さを感じた。なぜだろう。

目線を横に傾けると、隣に立っていた母が鬼の形相でゆうつくりと口を開く。

「起きたか。布団直しときなさいよ。」

ずしんずし……いやいや、のっしのっし……いやいやごほん、足音荒く去っていった母親はなぞの捨て台詞を残していった。

ふむむ？ はて、寝相はいいはずなのだが…。

「はっ」

もっかい、はっと言ってから布団を見てみた。

トルネードだった。

後日談。

母に「また自転車漕いでたのかい」と聞かれ、はて何のことやらと首を傾げたら小さいころに寝てるとき、自分が足をせっせとばたばたさせていたそう。

（後書き）

実は半分実話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6392r/>

夢想表示

2011年4月3日11時28分発行